

# CONTENTS

No.288 2024年10月号 草月指導者連盟機関誌



## 『植物の気配』

家元が植物のかたちを浮き上がらせる。  
色とりどりの空気をまとして  
軽やかに舞う植物たちを魅せるシリーズです。

表紙作品＝勅使河原茜

表紙アートディレクション＝永井裕明 (N.G.inc.)

表紙デザイン＝前田由貴 (N.G.inc.)

印刷＝東洋紙業株式会社

制作協力＝丸紅フォレストリンクス株式会社

32 27 23 13 11 10 8 4 2

カレンダー

インフォメーション 本部教室／草月WEST

草月×日本茜プロジェクト

百花万葉

SYCレポート SYC東京1／SYC福岡

支部活動報告 神奈川県支部展

「立体造形」とは？④自然観

勅使河原茜の花

だから、おしゃべりはやめられない 第96回「時間を越えた連帯感」



2024年10月23日(水)～28日(月) 日本橋高島屋S.C. 本館8階ホール  
前期：10月23日(水)～25日(金) 後期：10月26日(土)～28日(月) 入場時間 10:30～19:00 (19:30閉場)  
※25日(金)は15:30まで(16:00閉場)、28日(月)は16:30まで(17:00閉場)  
【入場料】1,200円(税込)、中学生以下無料 【総合監修】勅使河原 茜(草月高島屋代表家元) 【主催】一般財団法人草月会 <https://www.sogetsu.or.jp>

草月 Takashimaya S.C. NIHOMBASHI

## 第105回 草月いけばな展「遊べ、もっと！」

2024年10月23日(水)～28日(月)

前期：10月23日(水)～25日(金) 後期：10月26日(土)～28日(月)

10:30～19:00 (19:30閉場)

※25日は15:30まで(16:00閉場)、28日は16:30まで(17:00閉場)

日本橋高島屋 S.C. 本館 8階ホール

同時開催：特別展示 本館1階正面ステージ

2024年10月16日(水)～28日(月)

監修：勅使河原茜家元 主催：一般財団法人草月会

入場料：当日券 1,200円(税込)、前売券 1,000円(税込) ※中学生以下無料

※チケットは、草月会館3階会員サービス部、草月WESTにて前売券をお買い求めいただけます。  
また、展覧会場にて当日券をお買い求めいただけます。

※会場の混雑状況により、入場制限をさせていただく場合がございます。

※会期や内容は変わることがあります。また、天災及びその他不可抗力による事由により、  
草月いけばな展の開催を延期・中止する場合がございますので、予めご了承ください。

※最新の情報は日本橋高島屋 S.C.、一般財団法人草月会のホームページをご覧ください。

お問い合わせ [事業課] TEL：03-3408-1156 / FAX：03-3405-4947 / E-mail：kikaku@sogetsu.or.jp

多

分にもれず猛暑となった今年の夏。そんな中で開催されたパリオリンピック・パラリンピックでは、私もいくつかの競技をテレビで観戦しました。中でも熱心に応援したのが男子バレーです。低迷期も知っているだけに、現在の日本男子バレーのパワーとレベルの高さにびっくり！その背景には、海外のバレーボールリーグで活躍する選手が増えたこともあるのかもしれませんが、あと1点が遠く、

惜しくも準々決勝敗退とはなりましたが、その勇姿は記憶にしっかりと刻まれました。

さて、夏が過ぎ、いよいよ秋のいけばなシーズンの到来です。10月は草月いけばな展がありますし、私も出張だけで3件の予定が入っており、時間に追われるような日々が始まります。その怒涛のシーズンの皮切りとなるのが、新国立劇場のウェルカムフラワーです。2007年より毎年ご依

だから、おしゃべりはやめられない<sup>96</sup>

勅使河原茜

## 時間を超えた連帯感

頼をいただいていたのですが、コロナ禍を挟んだこともあり、今回は2018年以来6年ぶりの展示となります。老若男女さまざまな人が行き交うこの劇場に、これまで生花をふんだんに使った、豪華で華やかな作品を制作してきました。ただ、過去にも何度か展示をしている場所ですし、中にはリピーターのお客様もいらっしゃることでしよう。そこで今回は趣向を変えて、もっと軽やかでポップな、

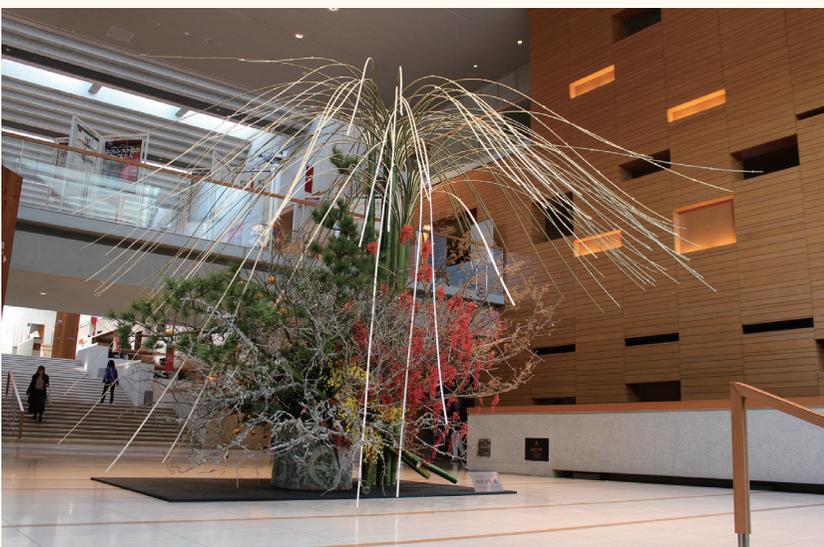
作品にしたいと、先方にご提案してみました。たとえるなら、昨年の草月いけばな展で、日本橋高島屋の1階正面ステージに展示した作品のようなイメージでしょうか。とりどりに着色したアリウム・シューベルティが楽しげに舞う、私のお気に入りの作品の一つです。しかし、先方からは、すべて生の花を使った作品にしてほしいとお返事でした。これは推測ですが、着色花材を使うことで、いけばなという

よりは装飾品、あるいは造花のように見えてしまうことを懸念されたのかもしれませんが。完成した作品を直接ご覧になれば、きっとご満足いただけるだろうという自信はあるのですが、新国立劇場という場があつてこそその作品ですから、こちらが勝手に決めるわけにはいきません。クライアントの意向に沿うことも、仕事においては非常に大切です。生花を使った「これぞ、いけばな」という作品を完成させ、関係者の皆さま、劇場を訪れた方々に喜んでいただきたいと思っております。

このように自分のやりたいことと、相手の求めているものにズレが生じることは多々あります。100パーセントの自信を持って提案したアイデアでも、相手が気に入るには限りません。いけばなに限った話ではなく、皆さんも仕事、あるいは様々な場面で、同じようなシチュエーションに遭遇した経験があるのではないのでしょうか。自分の気持ちばかり押し付けてはいけません、だからといって安易に妥協ばかりしては、よい結果にはなりませんし、相手にもかえって失礼です。主張すべきことはしっかりと断つ、すり合わせをしながら、お互いが納得できる形に持つていくしかありません。

先代の家元・宏は、次のように述べています。「すぐれた作品が与える感動というものは、そこに人と人とのコミュニケーションを成立させるものである。その意味では、結果としての作品は、つくった作者の仮の姿だといえるかもしれ

ない。作品の中に作者の姿がしのばれ、そこに時間を超えた連帯感が生まれてくる」。装花ディスプレイの仕事で「フラワーワーク」と呼び、積極的に依頼を受けるよう勧めた宏は、仕事としての作品制作であっても、いけばなを通じて心が結びつくことの大切さを教えてくれました。私も草月ならではの自由さや柔軟さを発揮しながら、観る人の気持ちをひとつにさせるような花をいけたいと思います。



2018年の新国立劇場ウェルカムフラワー。  
6年ぶりとなる作品を、どうぞご期待ください！  
(展示は10月2日から11月4日まで。営業時間中はどなたでもご覧いただけます)

# 勅使河原茜の花

Original Works by Akane Teshigahara



たわわに実り、色づいた2種の実もの。  
溢れんばかりの秋らしさを籠に合わせました。

花材：よつどめ、まゆみ、蘭、ヴァンダ  
花器：竹籠  
サイズ：117×141×130cm



それぞれが持つ独特の線を、どう見せるかを考えながらいけました。  
苔まきの力強さに、こうてんぐわのユニークな線を合わせることで、抜け感を出しました。

花材：苔まき、こうてんぐわ、つるうめもどき 花器：陶器花器 サイズ：120×120×117cm



個性豊かな3種の実もの。それぞれの風情をいかして、口元もげっとうでまとめてみました。  
いずれも秋らしい色合いではありませんが、それにより静謐で落ち着いた雰囲気が生まれました。

花材：ナンキンハゼ、ふうせんとうわた、げっとう 花器：陶器花器 サイズ：113×104×92cm

# 「立体造形」 とは？④

「いけばなは立体造形である」。この理念を構成する要素のひとつである「自然観」とは何でしょうか。

## 自然観

自然観のとらえなおし。自然がそのままいけばなになるのではない。花はいけたら花ではなくなる。いけたら花は人になるのだ。創る。表現する。花は具象的なもの、いけばなは抽象的なもの。自然の模型ではない。

「花は野にあるように」。これは、千利休が残した茶の湯における7つの教え「利休七則」にある有名なことばです。これを「花が野に咲いていたときのまゝいけばな」と解釈する人がいるがそうではない、と初代家元蒼風と第二代家元・宏は繰り返し唱えています。

「たん切りとられた花が、どんなに自然さを失い、調和を破壊してしまっているか。それをそのまま、枝ぶりも直さず鉢も入れず花びんにさしたものが、野にあるよう、な美しさを示している、などとおもうことは、なんとという間違いかとわたしはおもう。だからこれは反対に言ったほうがましなのだ。花を、野にあるように、美しくいけばなにするには、相当鉢を入れなければならない、枝ぶりは曲げなければならない、葉の数も減らさなければできないのである。そうして、野にあるように、美しくつくるのがいけばなである」（勅使河原蒼風『花ぐらし』より）。蒼風は「自然をいける」のではなく、「自然にいける」ことが真意だと説いています。

「いけばなは、その数千、数万と咲き乱れる花々のなかから、ある特定の一枝を選択してくるのである。幹から切り離された枝は、もう自然の状態に戻ることはできない。その枝や花は、選んだ人の世界のものとなったのだ。いけばなは、まず作者が選ぶという行為からはじまる。そのうえで、花という植物を素材にして、もうひとつの自然を創りあげるといふ、作為の世界に移っていく。それは決してもう一度自然にかえそうなどという行為ではない」（勅使河原宏『古田織部・桃山の茶碗に前衛を見た』より）。さらに宏は、「利休は当時全盛期の立華に対して、いけばなは自由で精神性の強いものでなければならぬと主張している」と分析しています。いけばなは自然の模型ではなく、創造性のあるいきいきとした生命体へ変化させる表現行為なのです。

2024年度のサブテーマ「いけばなは立体造形である」。立体造形の理念を構成する7つの要素

「空間性」「行為」「現代性・創造性」「自然観」「素材」「古典」「形」を紐解いていきます。今号では「自然観」を、次号289号は「素材」をご紹介します。



勅使河原宏による「樹人幻想」（1980年／第62回草月展）。

観る人を異世界へ誘うような造形の秘密は、植物の美しさを瞬間的にとらえるときに、何の植物かを見るのではなく、その美しさを「色と線」に還元するところにある。植物それぞれの固有名詞が気になるようないけばなではだめだ、というのが宏の持論である。「『あ、竹だ』と思ってもらうだけなら、竹やぶを見てもらうのがいちばんいいのだ。植物の空間によって人を包むという意味は、そこにいる人間を別の世界にふっと誘いこむほどのもの、非日常のものが表現されていなければならないということである」（勅使河原宏『古田織部：桃山の茶碗に前衛を見た』より）

【お詫びと訂正】前号 P.10 おきまして誤りがありました。お詫びして訂正いたします。（誤）広島県現代美術館 →（正）広島市現代美術館



上は「紙による立体」、下は「あらゆる角度からの視線を考えて」をテーマにした生徒さんの作品。

## 私の教室の「いけばなは立体造形である」

谷口千恵子さん(東京)の教室では、立体造形のいけばなを知り、理解することを目的に以下の内容の研究会を行いました。

- ①「紙による立体」…造形あそびから（写真上）  
2枚の紙から立体を制作。立体が出来上がったら形状をよく観察し、調和を考えて着色。
- ②「あらゆる角度からの視線を考えて」…花材からの発想（写真下）  
角度によって、形や見え方が大きく変化する作品を制作。
- ③「自分で選ばない花材と花器を使って」…花器からの発想  
花器と花材の偶然の出会い、構成次第で必然に変わります。

## 私の教室の「いけばなは立体造形である」募集中!

[E-mail] info@sogetsu.or.jp [郵便] 〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 出版部 編集制作室

神奈川県支部展

神奈川県支部のInstagram



そして未来へ

8月21日～26日  
横浜高島屋ギャラリー

会場構成を変えながら

開業65周年を迎える横浜高島屋で、家元出品のもと神奈川県支部展が開催された。残暑厳しい時期での開催であることから、会期を2日ずつに区切り、三期制とした。

タイトルは「そして未来へ」。出品者それぞれが、未来への夢や希望を描きながら、作品制作に向かった。今回、特に力を入れたのは会場づくり。前回までは大きな作品を意識していたが、今回の支部展ではおおらかに開放された空間に、のびやかに作品を展示した。支部による合作や各グループによる合作、それらを取り巻くように個人作や壁作品を配置。一次、二次、三次で会場全体の構成をガラリと変え、支部展を盛り上げていった。また、展覧会会場の他、1階正面入口にも茜家元の作品を展示し、より多くの方に草月をアピールした。



1 家元作品（ニリ、ドラセナ、ワシントンニア、枯れ旅人の木、ハンギングヘリコニア、美人蕉、しゃれ木）。  
2 1階の家元作品（しだれぐわ、着色アリウム・シューベルティ）。  
3 支部合作。  
4 5 6（左から）久保島一超さん、日向洋一さん、狩野朱紅さんの作品。  
7 8 9 10 会場風景。

SYC東京1

「道具の使い方を学ぶ講習会」  
2023年6月25日  
久保島一智アトリエ

「空間構成を学ぶ勉強会」  
2023年7月30日  
草月会館4階教室



ペンチとのこぎりを使いこなす

SYC東京1OBの久保島一智さんをお迎えし、道具の使い方を学ぶ講習会を開催。今回は屋外展や合作制作などにおいて、全員が道具を使いこなし、戦力になることを目標に、ペンチとのこぎりの使い方を徹底的にご指導いただいた。ふだんのいけばな稽古では学ぶことのできない技術を習得する機会となり、非常に実りの多い勉強会となった。



「美しさ」と「強さ」

建築を専門とされるオオニシタクヤさんをお招きし、建築学的観点から空間構成を学ぶ。講義を受けた後、45センチ四方の板の上に黒いストローでタワーを作成。見たい「美しさ」と構造的な「強さ」を意識しながら、天井に届くことを目指して制作したタワーはそれぞれ個性に溢れ、今後のいけばな活動に大きな刺激をもたらすものとなった。

SYC福岡

2024年6月30日  
HANA ART KATAYAMA  
アトリエ



参加者の中には、いけばなを始めてまだ数ヶ月で「剣山なしで水盤にいける」に初めて挑戦するメンバーも。また、経験者も、枝もの以外の素材でいけてみるなど、各々がテーマと真剣に向き合った。

2023年度総会・研究会

2023年度の総会を開催。行事収支報告、次年度行事予定、予算案を発表、新役員を紹介を行い、メンバーにより承認された。総会の後は片山紅早先生を講師に迎え、「剣山なしで水盤にいける」をテーマに研究会を実施。デモンストレーションを交えてご説明をいただき、テーマについての理解を深めた。完成後、1作ずつ講評が行われ、作品の向きやバランス、空間の活用、葉の向き、見せたい箇所の重要性等、様々な助言をいただいた。

岩手県支部 桐交会 いけばな展

2023年9月30日・10月1日  
岩手(盛岡市)／マリオス20階展望室展示場  
岩手県支部桐交会会長山本智揚 他会員44名



「秋に寄せて―線・色・塊―」をテーマに  
久々にグループ展を実施した。写真は岩手  
県のりんどうを使った、役員による合作。

15周年記念 第15回いけばなスペース花展

2023年9月30日～10月2日  
愛知(名古屋市)／有松町並み保存地区  
草月26名



県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育  
委員会の後援を得て、DM、パンフ等を  
配布。大勢の方にお越しいただいた。

いけばなインターナショナル名古屋支部第57回いけばな展

2023年9月30日・10月1日  
愛知／名古屋国際センター4階展示室  
草月24名 写真作品:伊藤霞園・小川紫園・近藤佳世子・豊田白静



花といけばなを愛する会員 海外の方  
等にご出品いただき、「このモットーで  
ある「花を通じての友好」が深まった。

小林華道連盟展

2023年9月30日・10月1日  
宮崎／小林市文化会館  
八反幸洲社中 写真作品:八反幸洲 他4名



華道指導者による華道連盟展。エン  
トランスホールと正面ステージに「おも  
てなしの花」と竹の大作を制作した。

ムサ美埼玉2023展

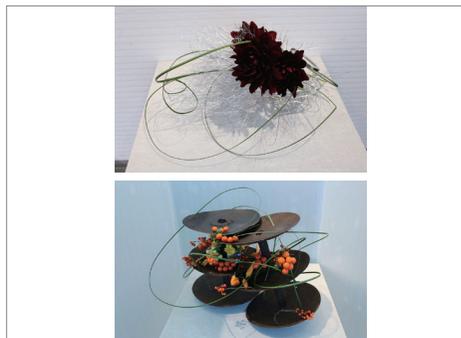
2023年9月23日～10月1日  
埼玉県立近代美術館  
藤本遙染



タイトルは「ナウシカの風」。ウエルカ  
ム作品として、王蟲のような自作花器  
に飾る。この世の浄化を願いながら。

第67回草月星秀会展

2023年9月30日・10月1日  
富山／北日本新聞ギャラリー  
富山県支部星秀会



コロナ禍のため4年ぶりの星秀会展。  
耐え忍んだ思いをぶつけるように、い  
けることの楽しさ、喜びを表現した。

新春懇親会パーティー2025

5年ぶりに関西で開催!

大阪来てな!



昇格お披露目  
ごあいさつ

豪華!  
家元によるデモ

テーブル対抗  
大袖宴会

【新春懇親会パーティー】2025年1月25日(土)

11:00開場 / 12:00開宴 (ホテルニューオータニ大阪・鳳凰の間)

【参加費】

30,000円(お一人様)

※団体割引(10名以上):28,000円(お一人様)

【お申込み期間】

満席になり次第締め切り

【お申込み方法】

※お申込み前にお電話で残席をご確認ください。  
申込用紙と参加費が揃った順に受付いたします。  
申込代表者は草月指導者連盟会員(2024年度完納)に限ります。会員  
のご家族、ご友人様もお申込みいただけます。

●申込書ご提出方法

E-mail、FAX、郵便にて承ります。

●参加費ご入金

窓口申込:草月会館3階・会員サービス部窓口にて申込用紙に参加費  
を添えてお申込みください。

郵便振替:ゆうちょ銀行備え付けの振込用紙の通信欄に必要事項をご  
記入の上、参加費をお振込みください。

郵便振込口座番号:00140-2-355112 加入者名:一般財団法人草月  
会事務局 通信欄:①行事名「新春懇親会パーティー」②代表者名情  
報(会員番号・氏名・雅号・住所・電話番号)③参加内容(懇親会パ  
ーティーの参加人数。支部など団体の場合は団体名。記入例:「〇〇支部」  
「〇〇社中」など)

お問い合わせ [総務課] TEL:03-3408-1154 / FAX:03-3405-4947 / E-mail:somu@sogetsu.or.jp

第42回久留米連合文化会会員華道展

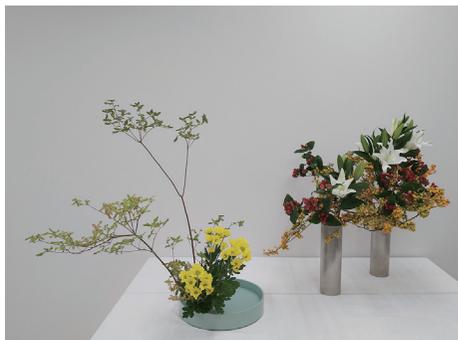
2023年9月15日～18日  
福岡/久留米ビージェイガーデン  
万年青会12名 写真作品:中野松芳(左)・中野揚弥(右)



新規展示場での開催。全員が草月らしい線色塊を存分に発揮し、秋の風を思わせる作品を制作した。

講師作品展

2023年9月14日～23日  
愛知(北名古屋市)/西春カルチャーサロン  
和田紗香



2022年10月より西春カルチャーサロンの講師を担当。開講に先立ち、講師作品展に2作を展示した。

ASZ共催 日本祭り

2023年9月13日  
ドイツ(ミュンヘン)/Alten-und Service-Zentrum Au  
吉田恵麻



ドイツに旅行中、現地在住の先輩のご厚意で日本祭りに急速参加。落ち葉を使った作品や、ミニアチュールをいけた。

「東方の色彩(kraski Vostoka)」展

2023年9月13日～16日  
ロシア/ロシア科学アカデミー研究所東方文化センター  
モスクワ支部



39名が参加し、35点を制作。また、モスクワの陶芸家が招待され、作品を披露。700名以上が来場した。

平安神宮献花会

2023年9月9日・10日  
京都/平安神宮額殿  
塩見丹珠麗・小間丹珠寿 他1名



草月流からは3作品の献花を行い、それぞれの個性をいかして秋を表現。多くの来場者で賑わった。

東京島根県人会に作品を展示

2023年9月10日  
東京(文京区)/ホテル椿山荘東京  
増本市子



東京、東京近郊にお住まいの島根県出身の方、ならびに縁のある方が集う親睦会の会場ステージに作品を展示した。

豊中茶華道連盟「秋のいけばな展」

2023年9月23日・24日  
大阪/豊中市立文化芸術センター  
草月11名



毎年春か秋に開催される。連盟に加入している会員は全員参加し、草月から大作1点を含む6点を出品した。

瀧澤家住宅で伝統文化を体験しよう

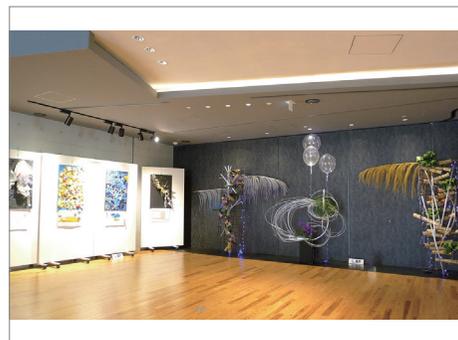
2023年9月24日  
栃木県(さくら市)/瀧澤家住宅  
木村爽陽



「中秋の名月を飾るいけばな体験」というテーマで教室を実施。今回で2年目。好評につき、定期開催の依頼を受けた。

佐倉洋佳グループ展 hanaシリーズNO.5 TAKEと遊ぶ。

2023年9月23日・24日  
大分(佐伯市)/さいき城山桜ホール1F アートプラザ  
佐倉洋佳社中



竹の様々な表情を見つけ、それぞれのグループで制作。どれだけ竹と遊べるか、各グループが真剣に取り組んだ。

中信華道会諸流いけばな展

2023年9月23日・24日  
長野(松本市)/井上百貨店本店7階大ホール  
草月13名



毎年9月に開催される花展。写真はすずきの線が美しい吉澤千景さんの作品。花器は自作のものを使用した。

土曜塾いけばな体験

2023年9月16日  
福岡(久留米市)/金島ふれあい交流センター  
指導:原千秋



校区内の小学生に様々な体験をしてもらう土曜塾でいけばな指導。26名が参加し、個性豊かな作品が完成した。

永山文化教室「見て、体験して、学ぶ、いけばな教室」  
旧永山武四郎邸にいけるⅦ

2023年9月23日  
北海道(札幌市)/旧永山武四郎邸、旧三菱鉱業寮  
グループフリーデル



以前より装花や正月花で相互協力を深めていた施設より依頼を受け、体験教室を実施。同時にグループ展を行った。

### 第69回広島平和美術展

2023年7月29日～8月3日  
 広島県民文化センター 地下展示室  
 草月14名 写真作品:松本和虹・森田童子・山下映泉・吉田栄梢・佐々木裕幸



世界平和への願いを表す美術展。ウクレイナのひまわり畑が、また咲き続けられるようにと願いを込めていけた。

### いけばな体験

2023年8月1日  
 宮崎(都城市) / 小倉邸  
 指導:木原真舟



地元スポーツ少年団との交流でドイツから来日した高校生が初めてのいけばな体験。日本の伝統美を楽しく学んだ。

### 岩手県支部幸草会いけばな展

2023年9月2日・3日  
 岩手/もりおか町家物語館  
 岩手県支部幸草会



草月五十則「環境から生まれたように」をテーマに、合作・個人作を展示。地元新聞にも取り上げられた。

### 第64回別府諸流いけばな展

2023年9月2日・3日  
 大分/ゆめタウン別府 2階催事場  
 堀内成穂・星野百葉・守田芳伸 他2名



流派を超えた協力体制で、和気藹々といわれる小規模な花展。なじみのない方々にも、いけばなの魅力を伝えている。

### レッツ・トライ! いけばな

2023年7月29日  
 神奈川(川崎市) / 世喜会館  
 指導:上野静勝



子どもたちの初のいけばな体験。「花や道具の名前を覚え、きれいにいけられました」と元気な声で発表もできた。

### What's SOGETSU? @シャミネ

2023年7月29日・30日  
 島根/シャミネ松江  
 島根県支部 東ブロック



松江駅に隣接するシャミネ松江の空き店舗を利用し、ウインドウや柱、試着室等、既存の施設に作品を展示した。

### 第12回藁の会いけばな展

2023年8月26日・27日  
 富山縣護國神社大拝殿  
 富山県支部藁の会



富山縣護國神社御鎮座百拾年記念玉石持行事に協賛。「竹と私」をテーマに、竹に想いを込め、個性溢れる作品を制作。

### OMF (セイジオザワ松本フェスティバル) 迎え花

2023年8月26日～28日  
 長野(松本市) / キッセイ文化ホール  
 草月9名



OMF開催中、各流派が交替で制作。草月流はオーケストラのコンサートに合わせ、9名で洋風の花をいけた。

### 場にいける

2023年7月20日～30日  
 北海道(札幌市) / ネットヨタ元町店  
 濱林涼萌



猛暑となった北海道で、アクリル棒、着色割箸、貝風鈴を使っていけばなを演出した。

### 日本庭園桜花亭ロビーにいける

2023年7月25日～31日  
 東京(足立区) / 花畑記念庭園・桜花亭  
 小林泉華



日頃お茶会、音楽会等の催物が行われる場にいける。この日はお茶会、絵の展示があり、ロビーを花で彩った。

### いけばな体験教室

2023年8月10日  
 沖縄(うるま市) / すずらん認定こども園  
 指導:沖縄県支部



「はっぱであそぼう!」のテーマのもと、子ども園で体験教室を開催。未来の草月人の誕生を願って……。

### ソニーサマーフェスタ

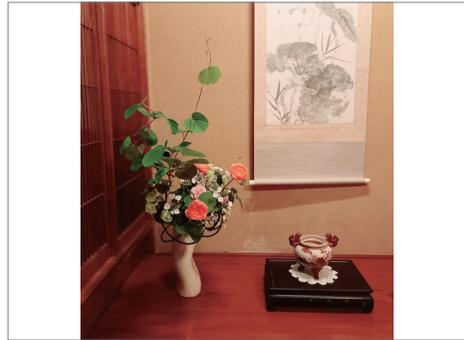
2023年8月25日～28日  
 東京(品川区) / ソニーシティ大崎  
 ソニー華道部 指導:林萩赤



会社主催の夏祭りに、社員の子どもたちを招待。その会場ロビーに、華道部が華やかな作品をいけた。

お寺にいける

2023年7月9日  
東京(北区)／静勝寺  
菅野紫染



数年ぶりに通常規模での開催となった施餓鬼会。御住職が選ぶ掛け軸に合わせ、優しく和の空間を彩った。

第46回福岡県華道代表作家展

2023年7月9日～14日  
福岡／柳田神社 恵比須会館  
片山健・片山紅早・重田青嶺・井上雅染・田中千舟・前田紫紗・山口松苑



地元の日本いけばな芸術協会会員45名による山笠開催中の華道展。今回で46回目。左は重田さん、右は井上さんの作品。

フラワーク

2023年7月1日～31日  
北海道／京王プラザホテル札幌  
北海道支部 草和会



ホテルより依頼され、ロビー花を制作。萩の枝のダイナミックかつ繊細な動きを中心に「北国の夏」の涼しさを表現。

水戸市民会館開館記念事業  
水戸のいけばな展 ～花で祝う～

2023年7月2日～4日  
茨城／水戸市民会館  
茨城県支部



会場となった芝生広場に吹き抜ける風のような、ダイナミックでありながら軽やかで、しなやかな作品に仕上げた。

第3回ちいさな草月いけばな展

2023年6月30日～7月2日  
新潟／旧齋藤家別邸  
草月竹あかり花あかりコラボレーションチーム



近代和風建築の秀作とされる建物の各部屋に展示。今回は土蔵も公開制作スペースとし、新たな作品を制作した。

アルコールインクアート×草月いけばな 赤平社中作品展

2023年7月1日  
青森／Festival City AUGA  
草月7名



アルコールインクによって偶然できる模様を楽しむアートと、いけばなのコラボレーション。

サンデー・フォト・倶楽部 2023 写真展

2023年7月18日～23日  
茨城／日立市角記念市民ギャラリー  
萩谷瀧清・杉山貴彩・大森瀧泉・菊池瀧幸・河合瀧楓・岩崎瀧加



来場者の視線を意識した作品構成を狙い、花の重心を高めた装花を心がけた。花の香りもお楽しみいただいた。

銀行の窓口に季節の花を

2023年7月20日  
富山第一銀行 下新支店  
竹嶋幸紀



いつも利用する銀行の窓口に季節の花を届けている。お客様とのコミュニケーションのきっかけになると喜ばれた。

茅輪神事にいける

2023年7月16日  
愛知(名古屋)／城山八幡宮  
加藤房子・中川閑雅



「大茅輪くぐり」が行われる城山八幡宮の献花殿にいける。素材は風鈴の他、椿、ひまわり、着色そてつなど。

美萩グループいけばな展 ～夏・器～花～

2023年7月16日・17日  
香川(坂出市)／香風園内翠松閣・時雨亭  
山田美萩グループ 写真作品: 山田美萩



「夏器(花)」をテーマに、花器からの発想を通じて日本家屋への新しい表現を試みた。花器は全て山田さんの自作を使用。

虹の会きょうしつ展

2023年7月10日～16日  
岐阜／OKBふれあい会館  
虹の会(代表: 武藤虹水)



「草月ってなんだらう?」のテーマのもと、水のないいけばな、枯れもの、異質素材などで、特色ある作品展となった。

富山県支部三創会いけばな展「きらめき」

2023年7月15日・16日  
富山／高岡文化ホール  
富山県支部三創会



草月のいけばなが「きらめき」続けることを願い、138名の出品者が様々な表現をした。

ホテルハマツ ロビー迎え花

2023年6月10日～8月31日  
福島(郡山市)／ホテルハマツロビー  
菅野草苑社中7名



作品タイトルは「万緑清香」。長期にわたって展示できる素材を使い、緑を中心に、軽く、明るくをテーマに制作した。

6月の贈り物「万葉集の花をいける」

2023年6月20日・21日  
北海道／札幌市文化芸術交流センター2階 SCARTS 1、2  
札幌国際プラザフローラルアートグループ



いにしえの人々が植物を和歌に託したように、草月がいけばなを令和に届ける。作品にも和歌が添えられた。

花と織りなす人生 高橋篁和を偲ぶミニ花展

2023年6月10日・11日  
広島／小畑百花园2階  
高橋篁社中 写真作品：高橋篁赫



コロナ禍を経てやっと偲ぶ会を開催教室を会場にしていけばなを添え、篁和先生の足跡を辿り、想いを新たにしました。

草月会山形県支部米沢地区2023いけばな展

2023年6月10日・11日  
山形／よねざわ市民ギャラリー ナセBA  
山形県支部米沢地区



2年に1回の地区展。「草月ってなんだろう？」をテーマに取り組み、個性溢れる華展となった。

札幌・ミュンヘン姉妹都市提携50周年

2023年6月8日  
北海道／公益財団法人札幌国際プラザ  
伊藤千水



姉妹都市50周年の訪問団の迎え花を制作。ドイツの国旗の色合いを意識した。右写真はミュンヘン市長との一枚。

四日市2023アート展

2023年6月9日～11日  
三重／四日市市文化会館 第1・3・4展示室  
草月8名



恒例のアート展。草月は特別依頼を受け、5メートル大の超大作を制作。ダイナミックな作品で来場者を驚かせた。

新体操団体の金メダリストを迎えて

2023年6月26日～7月1日  
山形／村山市民体育館  
大場仙華



東京五輪新体操団体で金メダルのブルガリアの選手たちが、ホストタウンだった村山市を再訪。迎え花をいけた。

ヘルスケアアート:医療施設ギャラリーに作品を展示

2023年6月27日～9月30日  
神奈川／済生会横浜市東部病院 3階ロビー  
F.M.U. (柳沢香翠・石間星桜・大園芳雪・金子翠生・加藤春和)



竹ひごと和紙を使って、爽やかな夏をイメージして制作。浮遊感のある立体的な壁作品となり、たいへん喜ばれた。

留学生によるいけばなおさらい会

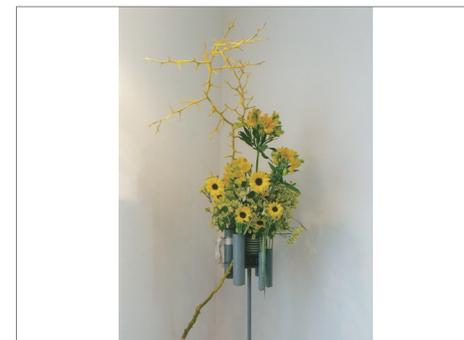
2023年6月24日  
愛知／名古屋国際留学生会館  
指導：犬飼文柚 他



幅広い国籍の方々にいけばな指導を実施。会場は夏祭りをイメージした合作を中心に構成した。

高媛媛二胡盛夏コンサートに

2023年6月25日  
静岡(三島市)／ティーサロン茶楽  
久保木玉悦



二胡の素敵な音色といけばなのコラボレーション。ウクライナの色を選び、世界平和を願いながらいけた。

42nd Anniversary Celebration Awards & Dinner in Los Angeles

2023年6月22日  
アメリカ(カリフォルニア州)／Noguchi Plaza at JACCC  
北島和幸



創立42周年祝賀会、ディナーにて。日米文化会館イサム・ノグチプラザに300本のひまわりを使った野外大作を制作。

朝日カルチャーセンター北九州50周年記念特別講演会 幸縁会

2023年6月24日  
福岡／北九州芸術劇場  
伊庭翠雅 他2名



ハープ&ギター演奏、鈴舞等のステージに大作をいける。竹のポール等で宇宙感と地上の楽園を表現した。

## 草月 × 日本茜プロジェクト

No.4

### 文楽と日本茜

6月30日、美山の畑近くの茅葺き古民家で『和蠟燭で文楽』の公演が行われました。和蠟燭の灯りのみによって人形浄瑠璃文楽を上演するというものです。

この日主役の女主人形が着るのは、人形遣いの吉田勘彌さんと京絞り染作家の寺田豊さんによって復元された江戸時代の文楽衣装。麻の葉模様の京鹿の子絞りを施し、日本茜と藍で染め分けられています。

和蠟燭は「京都 悠久の灯」プロジェクトから中村ロソクの田川広一さんが担当。日本茜と同じように、和蠟燭の原料である燭も危機的な原料不足に陥っています。西洋

創流100周年に向けて植物の成長と環境をテーマにしている「草月×日本茜プロジェクト」。京都府南丹市美山町の畑で、今は幻と言われている染草「日本茜」を育てています。今回は協働している日本茜伝承プロジェクト主催のイベントをレポートします。

ロソクと違い、煙が少なく、大きく美しい炎が特徴の和蠟燭は「ぶどうハゼ」を原料としますが、その生産農家が現在和歌山県に一戸残すのみになってしまっているとのこと。田川さん達はぶどうハゼの復活を目指しています。

闇の中、和蠟燭の灯りで日本茜の色彩が艶やかに浮かび上がります。実際に見る日本茜の色は、優しい深みがありました。原料となる植物を育てるところから手をかけられた、唯一無二の存在感。勘彌さんによって人形に息が吹き込まれると、衣装の色彩がいきいきと躍動します。

美山だけの特別な上演は、原材料植物を生産する環境が危機に瀕していることを教えてくれるものでもありました。次の100年の植物と人間の関係について、「草月×日本茜プロジェクト」は考えていきたいと思っています。

そしてこの公演に文字通り花を添えたのは、草月流有志たち。会場「蜜庵」は竹のオブジェと地元で採取した植物で彩られ、遠方からの来場者を迎えました。

美山で行われた『和蠟燭で文楽』。写真中央と左は草月流有志による竹のオブジェ。



### シルクロード能「バリ姫伝説」

2022年11月16日  
東京(中央区)／観世能楽堂  
横井紅炎



韓国神話と日本文化のコラボレーション。物語の重要なポイントである柳を使った作品を能舞台にかけた。

### アートクレージ展

2023年6月7日～13日  
京都／京つけもの西利 祇園店 西利ギャラリー  
神武祥染・清田咲染



水彩画・油絵・版画・ガラス工芸等プロで活動するアーティストグループに誘われ、枯れ素材を使った作品で参加した。

### 鎌倉駅展示

2022年5月25日～27日  
神奈川／JR鎌倉駅構内  
上原瑞光



5月の節句に合わせて、戦国武将のアイテムを使用。大将の証の陣羽織と馬上杯花入れに、とくさとしてつせんを。

### 駅を彩る

2022年8月1日～31日  
宮崎／JR日豊本線佐土原駅構内  
8月1日～17日：樋口南草社中・8月18日～31日：坂元清草社中



猛暑やコロナ禍に負けずに元気に過ごせるようお願いを込めて。ガラス花器で涼しさを表現、色の対比で夏の楽しみを。

### 中国からの旅行者に

2019年11月23日  
佐賀／前田寿節自宅  
指導：前田寿節グループ



自宅にて、上海からの旅行者13名にいけばなどお茶を指導。賑やかなひとときとなった。

### 雑誌でいけばな監修

2020年9月11日(発売)  
『ザ・テレビジョン』  
指導：大谷美香



雑誌でSnow Manの宮舘涼太さん、佐久間大介さん、岩本照さんがいけばなを体験。その指導、監修を行った。

家元と触れ合える特別イベント!

## 茜の部屋 Part 2

昨年初めて開催された「茜の部屋」。多くの方に好評をいただいた特別イベントが、今年も開催されます。草月らしい心地よい秋の時間を家元と分かち合いませんか?



昨年開催された「茜の部屋」の様子。

2024年11月23日(土・祝)

時間：午後  
会場：草月会館2階  
出演：勅使河原茜家元  
参加費：22,000円(税込)  
対象：草月指導者連盟会員  
募集人数：40名(予定)

申込み方法：電話、メール、FAXのいずれかにて申込みを受け付けます。「①会員番号 ②名前 ③連絡先」を、事業部事業課(下記記載)まで必ずお伝えください。  
申込み受付開始：10月17日(木)10:00～一斉募集開始  
※先着順、定員になり次第締切 ※上記日時に申込みいただきましても受け付けいたしかねます。 ※ご参加が確定された方には追って詳細をお送りします。 ※申込み後のキャンセルは受け付けいたしかねます。

お問い合わせ [事業課] TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp

## 「茜家元と迎える新年の会 2025」ライブ配信決定!

来年1月12日(日)草月ホールで行われる「茜家元と迎える新年の会 2025」のライブ映像を配信します!

家元による「新年ご挨拶」と「初いけデモンストレーション」を現場の臨場感とともにライブでお楽しみいただけるほか、新理事・新顧問・4級師範に昇格された方々による、「昇格お披露目セレモニー」や、新設された賞「草月優秀賞」のノミネート発表など、盛りだくさんの内容となっております。来春のお稽古始めはご自宅で社中のお仲間、ご友人とともに「茜家元と迎える新年の会」をご覧になってはいかがでしょうか? お申込みは10月1日(火)からPeatixにて承ります。



「茜家元と迎える新年の会 2025」ライブ配信

2025年1月12日(日)14:00～16:00

※草月会館4階教室にてライブビューイングあり(定員80名、要予約 TEL: 03-3408-1154)

【費用】3,000円(お一人様) 【申込み期間】2024年10月1日(火)～12月23日(月)

【申込み方法】Peatixからお申込みください。 <https://sogetsu2025.peatix.com>



Peatixはこちらから↑

お問い合わせ [総務課] TEL: 03-3408-1154 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: somu@sogetsu.or.jp

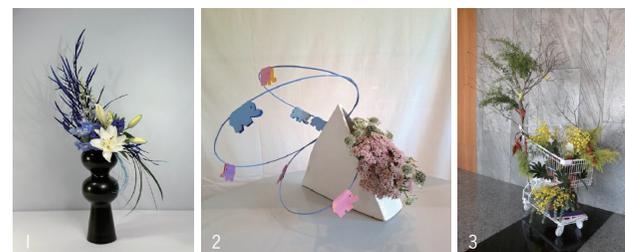
授業レポート / 海外会員向けオンラインによる家元研究科

## 世界の祝い花

5月31日、海外の支部長・副支部長、スタディグループのチエパソン向けに、家元による指導のもと、オンラインの研究科が行われました。参加者は16ヶ国34名で、テーマは「お祝いの花」。受講生は「誰の、何のためのお祝いとしていた作品であるか」を説明し、家元の講評を受けました。祝い花といっても千差万別。その一部を紹介しします。



家元によるデモンストレーション。



1. 「ケベック州の祝日「聖ヨハネの日」(カナダ)
2. 「私の可愛い孫娘へ」(スウェーデン)
3. 「母の日」(台湾)
4. 「チャールズ3世お誕生日」(ニュージーランド)
5. 「ようやく訪れた夏へのお祝い」(アメリカ・マサチューセッツ)
6. 「フランチャイズ各社が集まる本部会合の迎え花」(中国)
7. 「Olympic Games. Paris 2024」(オランダ)



●機関誌「草」オンライン版も読んでみませんか? 日本語・英語両方で掲載しています。右のリンクから! →

お問い合わせ [海外課] TEL: 03-3408-1151 / E-mail: overseas@sogetsu.or.jp



## 動画で見る 宏×イサム・ノグチ

草月の歴史を振り返る映像を、動画配信サイトにて配信中です。

【配信動画】「イサムノグチ 勅使河原宏 二人展」(1980年)  
宏家元と今年生誕120年を迎えたイサム・ノグチ氏による「二人展」です。両者が連携して作り上げていく空間を、貴重な準備風景からご覧いただけます。宏の陶器作品147点とノグチのあかり61点がならぶ展示空間は圧巻。

【料金】1,100円(税込)

【期間】2024年12月31日まで

詳細は草月流ホームページ(メンバーズサイト)をご覧ください。

【お問い合わせ】事業課 TEL: 03-3408-1156 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp



INFORMATION | 教室情報

今なら、入会金・再入会金が不要の講座も。この機会に、ぜひご受講ください！

※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性がございます。予めご了承ください。変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、教室運営課または草月WESTまでお問い合わせください。

2024年度サブテーマ：いけばなは立体造形である

2024年度は「草月ってなんだろう？」を深掘りするためにサブテーマ「いけばなは立体造形である」を設け、家元研究科や公開講座など様々な授業で取り上げます。創流100周年に向けて、第三代家元・宏が提唱し続けたこのテーマと改めて向き合ってみましょう。



昨年度の家元研究科では、2023年度のサブテーマ「線色塊」を、様々な授業で取り上げました。写真は昨年7月の苗家元による家元研究科（テーマ「線と塊」）でのデモ作品。

複数受講割引あり!

家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目標とします。感性と技術を磨く最高の勉強の場です。草指連会員の方なら、どなたでもご受講いただけます。複数受講割引もあり、より深く学ぶことができます。AT賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

	金	土	月	テーマ	講師
	14時/18時	10時30分/14時	10時30分/14時		
10月	25日	26日	28日	常にスイッチオン・花との出会い	日向洋一
11月	8日	9日	11日*	花器を主役を選ぶ	家元
12月	13日	14日	16日	スリリングに花と遊ぶ	家元

●申込方法：新入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mailで事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。●受講料/家元：15,000円（花材費2把分込み。同月2回目以降は12,000円）/本部講師：13,000円（花材費2把分込み。同月2回目以降は10,000円）※11月11日は川名哲紀師範が代講。

家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。ワンレッスン受講することもできます。

再入会金が不要

11月	火曜	5日	篠崎 洵雅	12日	中村 草山	19日	隅出 美泉
	木曜	7日	片山 健	14日	加藤 久美子	21日	五十野 雅峰
12月	火曜	3日	中村 草山	10日	篠崎 洵雅	17日	隅出 美泉
	木曜	5日	坂口 水恵	12日	五十野 雅峰	19日	片山 健

●原則として6日間、第1・2・3火曜と木曜 ●10時30分/14時/18時（各日3回開講） ●入会金：11,000円 ●月謝（月3回分）：13,000円（花材費別2,000円/都度払い） ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（5,000円・花材費別2,000円/都度払い）。

INFORMATION | お知らせ

草月文化活動支援基金への「ご協力ありがとうございました」でございます。2024年7月〜8月に当基金に寄せられた寄付金は、左記の通りです。（掲載は一万円以上、敬称略）石川湖裕、北海道支部、竹内双芽、令和6年度、草月流松花会55周年花展「翔」新田陸嘉、徳島県支部、多田霞優、いけばな草月札幌花「Live」グループ、宮下京子、神奈川県支部

大吉重男(昌山) 東京都/理事  
二〇二四年四月九日 享年九十三歳  
秋山登巳子(朱明) 埼玉県/理事  
二〇二四年六月三十日 享年八十二歳  
田中和子(新篁) 広島県/理事  
二〇二四年八月十八日 享年九十五歳  
松本令子(水玲) 神奈川県/理事  
二〇二四年八月二十六日 享年九十五歳  
溝口京子(京葩) 大阪府/理事  
二〇二四年七月二十日 享年九十一歳

訃報

会員証がデジタルになります。

現在、国内の草月指導者連盟会員の皆さまに発行しております紙製の会員証は、2025年度より草月メンバーズサイトのデジタル会員証になります。この機会にぜひメンバーズサイトにアクセスを。



仮パスワードを再設定する際、メールアドレスの登録が必要となります。メールアドレスをご登録いただいていない方は、会員サービス部までお知らせください。

※ドメイン設定(受信拒否設定)をされている方は「sogetsu.or.jp」からのメールを受信できるようドメイン設定を解除していただくか、または「sogetsu.or.jp」を受信リストに加えていただきますようお願いいたします。

[お問い合わせ] 会員サービス部  
TEL: 03-3408-1120 / FAX: 03-3405-4947  
E-mail: members@sogetsu.or.jp

「草月優秀賞」エントリー作品公開中

皆さまの展覧会や作品発表をご応募ください!

【エントリーのしかた】

- ①作品発表・展覧会を開催したこと等を本部へ報告し、エントリーします。  
※エントリーシートを草月のHPからダウンロード、または総務課から郵送でお取り寄せいただけます。写真10点以上（または動画）と共に総務課へメール、または郵送でお送りください。
- ②エントリーした作品、展覧会は「一般財団法人草月会 総務部総務課のInstagram（エントリー専用）」に掲載され、紹介されます。
- ③エントリー締切（2025年1月6日（月）13:00）までに寄せられたエントリー作品の中から年度末（2025年2月末頃）までに選考が行われます。

[対象] 国内外すべての会員(会員やその門下によるグループまたは団体を含む)  
[期間] 2024年度受賞対象期間は、2024年1月から12月までの活動とします。  
〈受賞者、グループ、団体は「花に感謝の日 受賞式典」にて表彰されます〉  
※支部の活動は「草月優秀支部賞」で選考します。



エントリー作品をInstagramで公開中!



お問い合わせ [総務課] TEL: 03-3408-1154 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: somu@sogetsu.or.jp

公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス！  
経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

受講日	テーマ	講師	内容
11月9日 (土)	【宏】 「いけばなの本質」 Part 1	 川名哲紀	宏家元は、「いけばなは、植物を使った表現です。植物を立体的に構成しそれによってその空間を変貌させるものです。これこそが、いけばなの本質である」と訴えました。今回、宏家元の説く「いけばなの本質」を再度学ぶことによって、草月いけばなの理論、素晴らしさを再認識していきます。11月、2月の2回にわたって学んでいくテーマとなり、今回はその第一弾です。
12月14日 (土)	【宏】 【いけばなは立体造形である】 藍と和紙の造形 ～お正月を寿ぐ花を 上質に演出～	 新田陸嘉	私の住む徳島県は、古くから「阿波藍（あわあい）」と呼ばれる藍染料日本一の産地です。「ジャパンプルー」として親しまれる藍色は、平安時代では高貴な色とされていました。和紙に描画できるインディゴ（人工藍）を使って、自分だけの藍の表現であそび、それを造形して作品に加えることで、華やかに上品に変化させ、新年を寿ぐ行事の花を演出してみませんか？

●授業時間：10時30分～16時 ●受講料：15,000円（材料費・昼食代込み）／入会金なし ●申込資格：草指連会員  
●定員：40名 ●募集：随時受付中。郵便振替または会員サービス部窓口でお申込みください。【郵便振替口座】口座番号：00180-6-119808 / 加入者名：（一財）草月会 教室運営課 ※払込取扱票の通信欄に①受講希望日②草指連会員番号③名前④（お持ちの方は）メールアドレスをご記入ください。●申込締切：開催日の1週間前（ただし定員になり次第締め切ります） ※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。 ※お申込み後でも、翌月以降（年度内）に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費（材料費および昼食代）をいただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

「理事・顧問昇格試験 体験講座」ご案内

いよいよ草月最高峰の資格に臨む皆さまへ、昇格試験模擬講座のご案内です！  
皆さまからのご要望にお応えし、本番を再現したりハーサル形式で「解答用紙の書き方」や「花型図の描き方」など、合格のためのポイントを小沢清香師範が丁寧に指導いたします。疑問点を解決し、万全の準備で試験に臨みましょう。

東京教室	草月 WEST
日 時：12月5日(木) 10時30分～16時 会 場：草月会館4階教室 申込締切：11月29日(金)	日 時：12月17日(火) 10時30分～16時 会 場：草月WEST 申込締切：12月10日(火)

●受講資格：理事・顧問昇格試験受験希望者（お申込み多数の場合、今回受験予定の方を優先とさせていただきます）。本番の昇格試験の受験は、親先生の推薦が必要です。●講師：小沢清香 ●受講料 15,000円（花材費、昼食代込み／東京・草月 WEST 共通） ●内容：午前／花型図 午後／実技 一種いけばなし（予定）  
※内容は変更になる場合があります。  
※2024年度の昇格試験は、理事・顧問が同日に行われます。  
東京：2025年1月23日（木） 草月 WEST：2025年1月26日（日）  
【申込方法】はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤希望会場⑥推薦者のお名前（親先生名）を明記の上、教室運営課、または草月 WEST の「理事・顧問昇格試験 体験講座係」宛、東京は11月29日（金）、草月 WEST は12月10日（火）までにお申込みください。お申込み後、受講案内と振込用紙をお送りします。  
※お申込み後、2024年度の受験予定の有無を確認させていただく可能性がございます。

男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。随時受付。

再入会金が不要

11月	15日(金)	西山光沙	12月	6日(金)	西山光沙
	22日(金)	澤田晃映		20日(金)	澤田晃映
	27日(水)	岩淵幸霞		25日(水)	岡崎忍

●開催日は水曜1回、金曜2回 ●18時（受付：17時30分～19時30分） ●入会金：11,000円 ●月謝（月3回分）：13,000円（花材費別2,000円／都度払い） ※家元教室・家元研究科への振替ができます。 ※証書申請可能。 ※再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（5,000円・花材費別2,000円／都度払い）。

インターナショナルクラス

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

11月	11日	福島光加	12月	2日	坂口水恵
	18日	坂口水恵		9日	高木水染
	25日	石川己青		16日	石川己青
				23日	福島光加

●毎週月曜日 ●10時30分～12時30分 ●受講料：7,000円／1回（花材費込み。月4回目以降は6,000円）  
※証書申請可能。 ※祝日は休講となります。

第43回みなと区民まつり  
増上寺大殿ステージ舞台装飾

毎年恒例となった本イベントの舞台装飾を、今年は本部講座「竹はともだち！」クラスが担当します。半年間、仲間と絆を深めながら練習した成果を、ぜひご覧ください！ 舞台装飾は常時、増上寺大殿前特設ステージにてご覧いただけます。

【日 時】10月12日(土)・13日(日)  
【会 場】大本山 増上寺(港区・芝) ※入場料無料  
【制作担当】「竹はともだち！」クラス受講生

2022年(第41回)の作品



第12回 AT賞展

2002年に茜家元の家元継承を記念し、家元のイニシャルより命名し創設された「AT賞」。家元研究科の在籍者の中から、最終選考を経た受賞者が研鑽の成果を発表します。

【日 時】2025年3月27日(木)・28日(金)  
10時～17時  
【会 場】草月会館1階プラザ ※入場料無料  
【出品者】第21回・第22回 AT賞受賞者

お問合わせ [ 教室運営課 ]  
TEL: 03-3408-1209 / FAX: 03-3405-4947  
E-mail: kyoshitsu@sogetsu.or.jp

第11回 AT賞展の様子



**新講座** The「草月人」 —私の個性をつくりだす—

「草月人」は「他の人と違うことをしたい」、「人と同じじゃつまらない」、そんなふうを考える人が大半ではないかと思ひます。では、どうすれば自分の個性を發揮することができるのでしょうか? 「してはいけない事はない」を軸に、「私の花」を再認識して個性を見出しましよう。

受講日(全3回)		講師	内容
第1回	2025年1月21日(火)	 森彩琳	【きれい く おもしろい】 いけばなをきれいにいけることは、いわば当たり前のことです。きれいな中にも「おもしろい」や「かっこいい」を意識しましよう。
第2回	2月4日(火)		【自然 く 技巧】 花伝書の一説に「自然をいかに変えたかということが、いけばなの大事な要素である。変化されていると同時に、加えられている。」とあります。ここでは「技巧」を加えて変化させます。
第3回	3月11日(火)		【量感 く 力感】 「力感」はむしろ分量的に少ないほど、よく出る。美は量でなく、力である。」と花伝書に記されています。今回は、作品を象徴するポイントを強調して表現してみましよう。

●授業時間: 13時~16時 ●受講料: 37,000円(材料費込み) ●受講資格: 草指連会員 ●定員: 21名 ●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤(お持ちの方は)メールアドレスをご記入の上、「The 草月人」受講希望の旨を、草月WESTまでお知らせください。●申込締切: 2025年1月7日(火)(ただし定員になり次第締め切ります)

サブスクリプション(定額見放題)の動画配信サービス

anytime SOGETSU エニタイム・草月



◀英語ページがスタートしました

200本以上の動画を 見放題	anytime SOGETSU は勅使河原茜家元と草月流本部講師による、いけばなデモンストレーションの動画が月額定額で見放題となるサービスです。草月のエッセンスが詰まったテキストに掲載されている各テーマより、実際に草月WEST 家元教室などで披露されたものを、何度でも必要な時にご覧いただくことができます。毎月新しい動画が追加されます。	 <b>月額*</b> <b>2,640円(税込)</b> ※開始日より起算
動画の個別販売	サブスクリプション(定額見放題)は「ちょっと負担」という方は、目的の動画を1本から購入できます(30日間見放題)。	<b>1本</b> <b>660円(税込)~</b>
無料動画コンテンツ	「草月WEST 家元教室いけばな展」、「ホテルエミオン京都のロビーのいけばな風景」のほか、草月WESTのスタッフがいけばなの基礎知識をゆるく解説する「いまさら聞けないいけばなの基礎知識」もごさいます。 ※ご視聴いただくには会員登録(無料)が必要となりますので、この機会にぜひご登録くださいませ!	 <b>0円</b>

anytime SOGETSU には、草月流ホームページの「草月を習う」メニュー、または上のQRより、どなたでもお入りいただけます。  
<https://www.sogetsu.or.jp>

**家元研究科**

受講者自らの植物表現を追求し、感性と技術に磨きをかけるクラスです。新入会・再入会大歓迎。AT 賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

	金曜	土曜	テーマ	講師
	14時30分	10時30分 / 14時30分		
11月	15日	16日	竹で遊ぶX'mas	片山 健
12月	20日	21日	私がいけた花に連花して遊ぶ	家元
2025年1月	23日(木)	24日(金)	「春風や……」俳句にいける	福島光加

●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●受講料(家元): 15,000円(花材費込み。同月2回目以降は12,000円) / (本部講師): 12,000円(花材費込み。同月2回目以降は9,000円)

**家元教室**

毎回テキストのテーマからの2作、講師のデモンストレーションがあります。たっぷり勉強できる充実の2時間。

再入会金が不要

11月	金曜	1日	中田和子	8日	五十野雅峰	22日	石川己青
	土曜	2日	〃	9日	〃	23日	〃
12月	金曜	6日	澤田晃映	13日	加藤久美子	27日	中田和子
	土曜	7日	〃	14日	〃	28日	〃

●月3回 金曜・土曜 ●金曜(14時30分/18時30分)、土曜(10時30分/14時30分) ●入会金: 11,000円 ●月謝: 12,000円(月3回分。花材費別: 1把900円) ●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能(5,000円。花材費別/都度払い)。 ※見学可能。

土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます!

**公開講座**

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みいただける魅力ある講座です。講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひご受講ください。

受講日	テーマ	講師	内容
10月16日(水)	空間と存在	 秋山美晴	目の前の空間の中で作品が魅力的な存在感を放つための、ボリューム感や色彩、間の取り方などを考え、空間との関係性を探りましよう。存在感とはサイズなのか、ボリュームなのか、印象の強さなのか。机から離れた勉強会を! と思っています。
12月11日(水)	アルミシート+和紙(金・赤)、さらに松で個性的な祝い花を楽しみましよう	 武藤星芳	細工しやすい「アルミシート」を使うことで「和紙」の表現が広がります。立体化や直線・曲線の帯など、多様な表現ができるようになります。お正月の新しい演出に挑戦しましよう。

●授業時間: 13時~16時 ●受講料: 5,500円(教材費別) ●定員: 20名 ●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●申込締切: 開催日の前々週の週末(ただし定員になり次第締め切ります)。

本部主催支部研究会・講習会

三重県支部	10月6日(日)	研究会 四日市市地場産業振興センター	福頼里雲	☎ 059-333-2411
香川県支部	10月20日(日)	研究会 アイバル香川(香川国際交流会館)	関薫美	☎ 090-5919-5706
沖縄県支部	11月2日(土)	研究会 ザ・ムーンビーチ ミュージアムリゾート 宴会場(家元指導)	金城蹊翠	☎ 098-836-7226
島根県支部	11月10日(日)	講習会 松江市市民活動センター(スティックビル) 交流ホール	増本市子	☎ 0852-23-3648
奈良県支部	11月24日(日)	研究会 草月WEST	福井靖星	☎ 090-3359-8977
石川県支部	12月8日(日)	研究会 金沢市ものづくり会館	岡部弘邦	☎ 0767-28-2844
宮城県支部	12月15日(日)	講習会 東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)	佐藤霞岳	☎ 022-304-5620
大分県支部	2025年2月16日(日)	研究会 J:COM ホルトホール大分	守田芳伸	☎ 0977-66-1311
東京西支部	2月23日(日・祝)	研究会 草月会館5階教室	樋口翠翔	☎ 042-576-6350
山形県支部	5月18日(日)	研究会 山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング	土田紫蘭	☎ 0234-24-9148

支部展

広島県支部展「What's SOGETSU?」	福山会場:10月4日(金)・5日(土) 広島県民文化センターふくやま 広島会場:10月12日(土)・13日(日) 広島県民文化センター	高橋陽春	☎ 090-5266-5969
愛媛県支部展「百人一花」	10月11日(金)～13日(日) いよてつ高島屋 9階ローズホール	玉井汀州	☎ 090-9458-1477
新潟県支部展「What's SOGETSU? ～未来に伝える花～」	10月13日(日)・14日(月・祝) 新潟日報メディアシップ	小林秀紅	☎ 025-283-3873
東京西支部展「第28回『よみがえる樹々のいのち』展」	10月15日(火)～12月1日(日) 国営昭和記念公園	樋口翠翔	☎ 042-576-6350
沖縄県支部展「リゾートにいける ～光・風・音を感じて～」	11月2日(土)・3日(日・祝) ザ・ムーンビーチ ミュージアムリゾート	金城蹊翠	☎ 098-836-7226
京都支部展「MEGURU」	11月2日(土)・3日(日・祝) COCON KARASUMA	岡慶民	☎ 0774-53-7646
香川県支部展「空間と語らう」	11月30日(土)・12月1日(日) 史跡玉藻城跡 玉藻公園 披雲閣	関薫美	☎ 090-5919-5706

各地の展覧会

Atelier Reio いけばな展 2024 Re:born ―その先に見えるもの―	10月4日(金)～7日(月) ANAインターコンチネンタルホテル東京(港区)	モランジュ真紀子	makikomorange@gmail.com
草月流いけばな 井上佐芳社中展 花遊び	10月12日(土)～14日(月・祝) 竹林寺(高知市)	井上佐芳	☎ 088-865-5575
Team Albelo 「Ikebana Creation」	10月13日(日)・14日(月・祝) 富山県民会館 3階 ギャラリーC	亀谷美樹	☎ 076-492-6120
咲咲花 Akasaka	10月29日(火)～11月2日(土) ギャラリーカフェ ジャローナ(Jalona)(港区)	村上蕉雅	☎ 090-2327-1821
栃木県支部フラワーク「草月と道の駅」	11月2日(土)・3日(日・祝) 道の駅しもつけ(栃木県下野市)	荒川映翠	☎ 080-5382-5962
齋藤瑛康個展 「rosina ～ ロジーナ」	11月2日(土)～4日(月・休) White Gallery(文京区)	齋藤瑛康	sogno21citta@ybb.ne.jp
クリスマスの足音 主催:福島光加と北のルビーの会	11月23日(土・祝)・24日(日) 六花亭帯広本店3F 弘文堂ギャラリー	鈴木泉晶	090-9524-7386
上田嶺和社中展「詩うⅡ」	11月23日(土・祝)・24日(日) 金沢市茶室旧園亭・松向庵	上田嶺和	☎ 090-2375-6810
癒しの二人展―和の美しさと静寂との調和―(後藤麗美・齋藤庭黎)	11月29日(金)～12月1日(日) スペース司(東京都中央区)	後藤麗美	☎ 0422-51-7319
北村青葎社中展「連花 れんか れんか れんか れんか あそぼう2」	11月30日(土)※・12月1日(日) 高幡不動尊 宝輪閣地下(東京都日野市) ※前号に掲載の会期[11月29日(金)～12月1日(日)]より変更となりました	北村青葎	☎ 090-9830-7892
和田紗香グループ「小さないけばな展 PART2」	11月30日(土)・12月1日(日) 新・神宮東中日ハウジングセンター 住友林業の家	和田紗香	☎ 0568-61-0759
第6回草月流「輝の会」いけばな展 ―記憶の片隅に―	11月30日(土)・12月1日(日) 富山県民会館 2F ギャラリーA・B	立野藍	☎ 076-421-9610

年間行事予定

～10月1日(火)	草月の秋2024(玉川高島屋S.C) ※家元、東京西支部・東京南支部・神奈川支部
10月2日(水)～11月4日(月・休)	家元による迎え花(新国立劇場)
10月9日(水)～14日(月・祝)	第9回日本いけばな芸術信越展(新潟伊勢丹) ※家元通期出品
10月12日(土)・13日(日)	本部教室「竹はともだち!」クラス 第43回みなと区民まつり 増上寺大殿舞台装飾 お問合わせ:教室運営課 03-3408-1209
10月16日(水)	財団理事会
10月23日(水)～28日(月)	第105回草月いけばな展(日本橋高島屋S.C.)
11月3日(日・祝)～10日(日)	20周年記念山の中花回廊(石川県加賀市山中温泉) ※石川県支部・福井県支部・富山県支部
11月9日(土)～30日(土)	沼津御用邸 hana・花・シンフォニー (静岡県沼津市) ※静岡県支部・神奈川支部・草月アトリエ
11月23日(土・祝)	茜の部屋 Part2(草月会館)
12月28日(土)～2025年1月5日(日)	草月会館 冬期休館日
2025年1月12日(日)	「茜家元と迎える新年の会 2025」と昇格お披露目(草月会館)
1月22日(水)	財団理事会
1月25日(土)	新春懇親会パーティー ※昇格お披露目セレモニーあり(ホテルニューオータニ大阪)

【草月会館土・日・祝日特別開館日】草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。10月26日(土)、11月9日(土)、12月14日(土) ※草月WESTは月曜定休。臨時休業もありますので、お問合わせください。

フラワーク

とらや赤坂本店	3階茶寮	10月	中村永教	赤坂見附
		11月	高橋紅優	
		12月	竹田虹映	
ザ・キャピトルホテル東急	3階ロビー・1階エントランス	常設	座・草月	溜池山王・国会議事堂前
ホテルニューオータニ東京	ロビー階	～10月1日	竹中麗湖	赤坂見附・永田町・麹町
		10月3日～11月11日	久保島一起	
ホテルニューオータニ幕張	1階エントランス(ハロウィン装飾)	～10月31日	座・草月	海浜幕張
ホテルOMO3 東京赤坂 by 星野リゾート	フロント・エントランス	10月	東和霞	赤坂見附・赤坂
		11月	濱田成光	
横浜ベイホテル東急	B1階神殿口・神殿前	常設	御手洗直己	みなとみらい・桜木町
ホテルエミオン京都	3階ロビー	常設	京都支部	梅小路京都西
	笹屋伊織別邸	常設	草月WEST	
ラフォーレ原宿 GR8	2.5階	常設 店内装飾	座・草月	明治神宮前・原宿
草月会館日本間 開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで		～10月11日	花崎陽文	青山一丁目
		10月15日～26日	岡崎忍	
		10月28日～11月9日	丹野霞園	
		11月11日～22日	佐々木紅葉	
		11月25日～12月6日	山田幸泉	

カレンダーに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、出版部 編集制作室までご報告くださいますようお願い申し上げます。

【ご注意ください】「各地の展覧会」掲載ご希望の方へ

- ・出版部 編集制作室まで、E-mail、FAX、郵送にて必要事項(下記)をお知らせください。
- イベント名 ●開催日時 ●会場 ●開催趣旨(個展、社中展等) ●問合わせ先のお名前、電話番号またはメールアドレス
- ・不達による掲載漏れを防ぐため、FAX、郵送の場合は、送付後必ず確認のお電話をいただきますようお願いいたします。
- E-mailの場合は、こちらより受領確認のメールを差し上げております(確認メールが届かない場合はお問合わせください)。